

事後評価委員会資料



【新座市オリジナルデザインマンホール】
このタイプは市内に5箇所設置してあります

新座市上下水道部下水道課

計画の概要

- ・計画の名称：新座市における快適環境の実現
- ・計画の期間：平成27年度～31年度(5年間)
- ・計画の目標：下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。
- ・計画の成果目標(定量的指標):
 - ①下水道による都市浸水対策達成率を50.9%から52.1%に増加させる。
 - ②下水道処理人口普及率を94.9%から97.0%に増加させる。
 - ③長寿命化計画策定のための、調査及び計画策定の策定率を75.0%にする。
 - ④ストックマネジメント計画の策定の進捗率を100%にする。
 - ⑤新座市雨水管理総合計画の策定の進捗率を100%にする。

目標の達成状況①

①下水道による都市浸水対策達成率

⇒ 浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)
 (整備面積) (浸水対策を実施すべき面積・・・1383.4ha)

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	実績値	目標の達成
50.9%	51.5%	52.1%	54.1%	○

目標達成！

社会資本整備総合交付金による整備に加えて、単独費による整備も実施したことにより目標を達成することができた

目標の達成状況②

②下水道処理人口普及率

⇒ 下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値	中間目標値	最終目標値	実績値	目標の達成
(H27当初)	(H29末)	(H31末)		
94.9%	96.3%	97.0%	97.2%	○

目標達成！

社会資本整備総合交付金による整備に加えて、単独費による整備も実施したことにより目標を達成することができた

目標の達成状況③

③長寿命化計画策定率

⇒ 長寿命化計画策定済み管渠延長(km)／長寿命化計画策定対象管渠延長(km)

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	実績値	目標の達成
0.0%	25.0%	75.0%	-	-

下水道長寿命化計画については制度が変更され、平成27年度以前から下水道以前から下水道長寿命化計画の策定・変更に着手していたものに加え、平成29年度までに限り提出が可能となったため、新規で創設されたストックマネジメント計画を策定する方針とした。

目標の達成状況④

④ストックマネジメント計画の策定の進捗率

⇒ 計画策定までに実施済項目(項目)／計画策定までに実施すべき項目(29項目)

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	実績値	目標の達成
-	-	100.0%	100.0%	○

目標達成！

平成29年度から3か年で
汚水ストックマネジメント計画を策定し、目標を達成した。

目標の達成状況⑤

⑤新座市雨水管理総合計画の策定の進捗率

⇒計画策定までに実施済み項目（項目）／計画策定までに実施すべき検討項目(10項目)

定量的指標の現況値及び目標値				
当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	実績値	目標の達成
-	-	100.0%	100.0%	○

目標達成！

平成30年度から2か年で
雨水管理総合計画を策定し、目標を達成した。

執行状況

事業箇所			全体事業費 (計画) ①	全体事業費(実績)							⑩ 補助金		
				④=⑤+⑥ ②=③+④		④=⑤+⑥ +⑦+⑧+⑨		⑤	⑥	⑦		⑧	⑨
				合計	単独(契約額)	補助(契約額)	平成27年度補助(契約額)	平成28年度補助(契約額)	平成29年度補助(契約額)	平成30年度補助(契約額)		平成31年度補助(契約額)	
雨水事業	A1-1-1	柳瀬川排水区幹線・雨水枝線整備	1,492.8	1478.0	0.0	1478.0	263.5	220.6	377.8	316.0	300.1	670.9	
	A1-1-2	黒目川排水区幹線・雨水枝線整備	369.6	4.3	0.0	4.3					4.3	2.0	
	A1-1-3	新座市雨水管理総合計画策定	30.0	25.4	0.0	25.4				8.4	17.0	12.7	
汚水事業	A1-2-1	柳瀬第6処理分区幹線・汚水枝線整備	481.8	201.2	84.6	116.6		116.6				57.0	
	A1-2-2	黒目川第1処理分区幹線・汚水枝線整備	136.5	153.7	63.0	90.7		90.7				39.2	
	A1-2-3	管渠長寿命化事業	80.0	-	-	-						-	
	A1-2-4	ストックマネジメント事業	50.0	45.2	0.0	45.2			9.6	19.0	16.6	21.5	
合計			2,640.7	1907.8	147.6	1760.2	263.5	427.9	387.4	343.4	338.0	803.3	

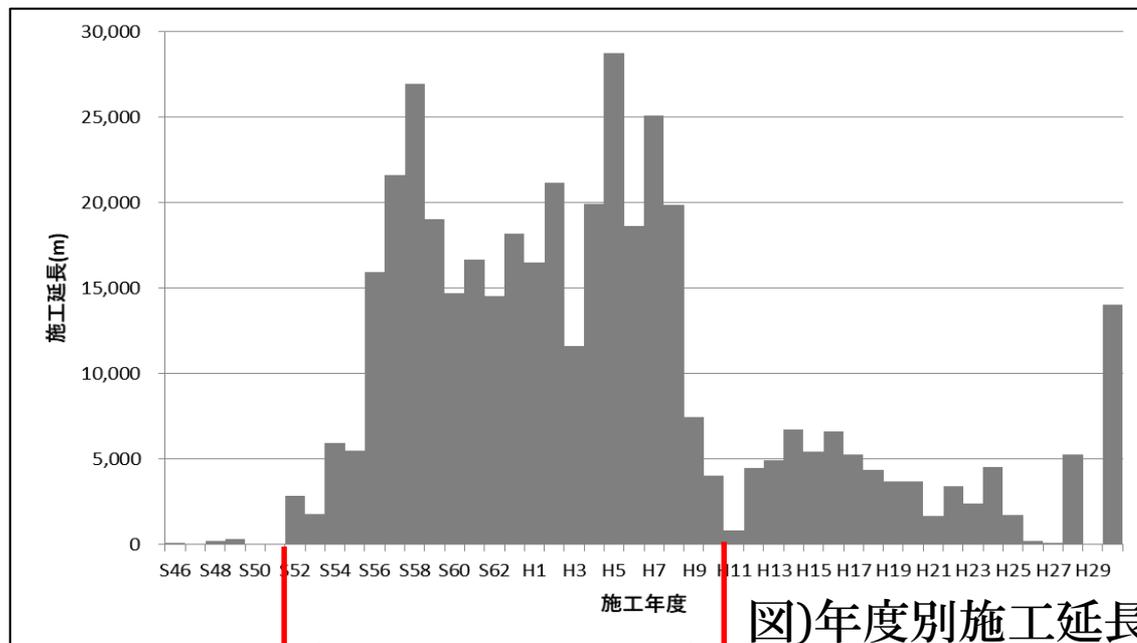
①: 整備計画に記載のある計画全体事業費
 ②: ③+④
 ③: 整備計画に記載があり、単独費で施工した箇所
 ④: ⑤+⑥+⑦+⑧+⑨
 ⑤~⑨: 各年度ごとの補助対象事業の最終契約額
 ⑩: 交付を受けた補助金額
 ※いずれも少数第2位で四捨五入した値

内示率や、近年の溢水状況を踏まえて、効率的な工事箇所を割り振った結果、上記に示すような執行状況となった。

交付金を活用し達成できたこと

- 雨水整備については、計画的に整備を進め都市浸水達成率を目標以上にすることができた。
- 汚水整備については本計画期間中、計画的に整備を進め、人口が微増しているにも関わらず、下水処理普及率を目標以上にすることができた。
- 汚水管路ストックマネジメント実施計画を策定することができた。
- 雨水管理総合計画を策定することができた。

今後の下水道事業の方針(汚水整備)

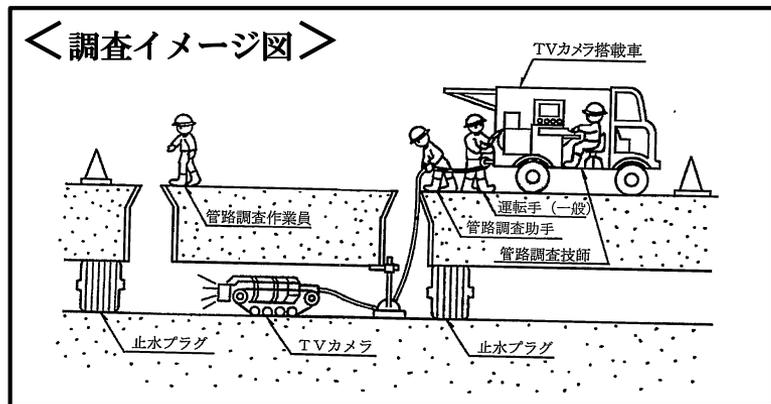


汚水管渠は市内に410kmあるが、このうち約80%を昭和52年度～平成10年度のわずか20年あまりで布設しており、一気に老朽化を迎え、更新に伴う財政のひっ迫が懸念される。

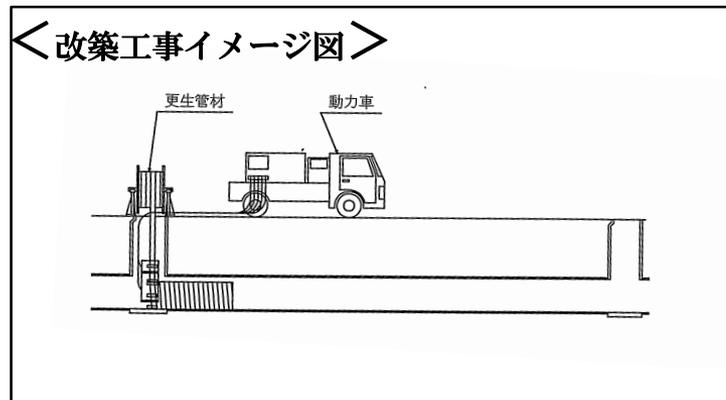
今後の下水道事業の方針(汚水整備)

＜汚水管路ストックマネジメント実施計画スケジュール＞

	実施計画第Ⅰ期										実施計画第Ⅱ期										
	前期					後期					前期					後期					
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	
改築(幹線)																					
改築(枝線)																					
調査(枝線)																					
調査(幹線)																					
人孔蓋交換																					
計画の見直し																					



下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-
公益社団法人 日本下水道協会



下水道用設計積算要領-管路施設(管きよ更生工法)編-
公益社団法人 日本下水道協会

- ・社会資本整備総合交付金を活用し策定した「新座市汚水管路ストックマネジメント計画」に沿って、さらに交付金を活用し効率的な維持管理を実施していく方針である。

今後の下水道事業の方針(雨水整備)

新座市 NIIZA CITY 雨水管理総合計画



- ・社会資本整備総合交付金を活用し策定した「新座市雨水管理総合計画」に沿って、さらに交付金を活用しメリハリをつけた整備を進めていく。

- ・汚水同様に雨水についても管路が約300kmあり、ストックマネジメント計画の策定を進めていく方針である。

- ・いずれも社会資本整備総合交付金を活用していく方針である。